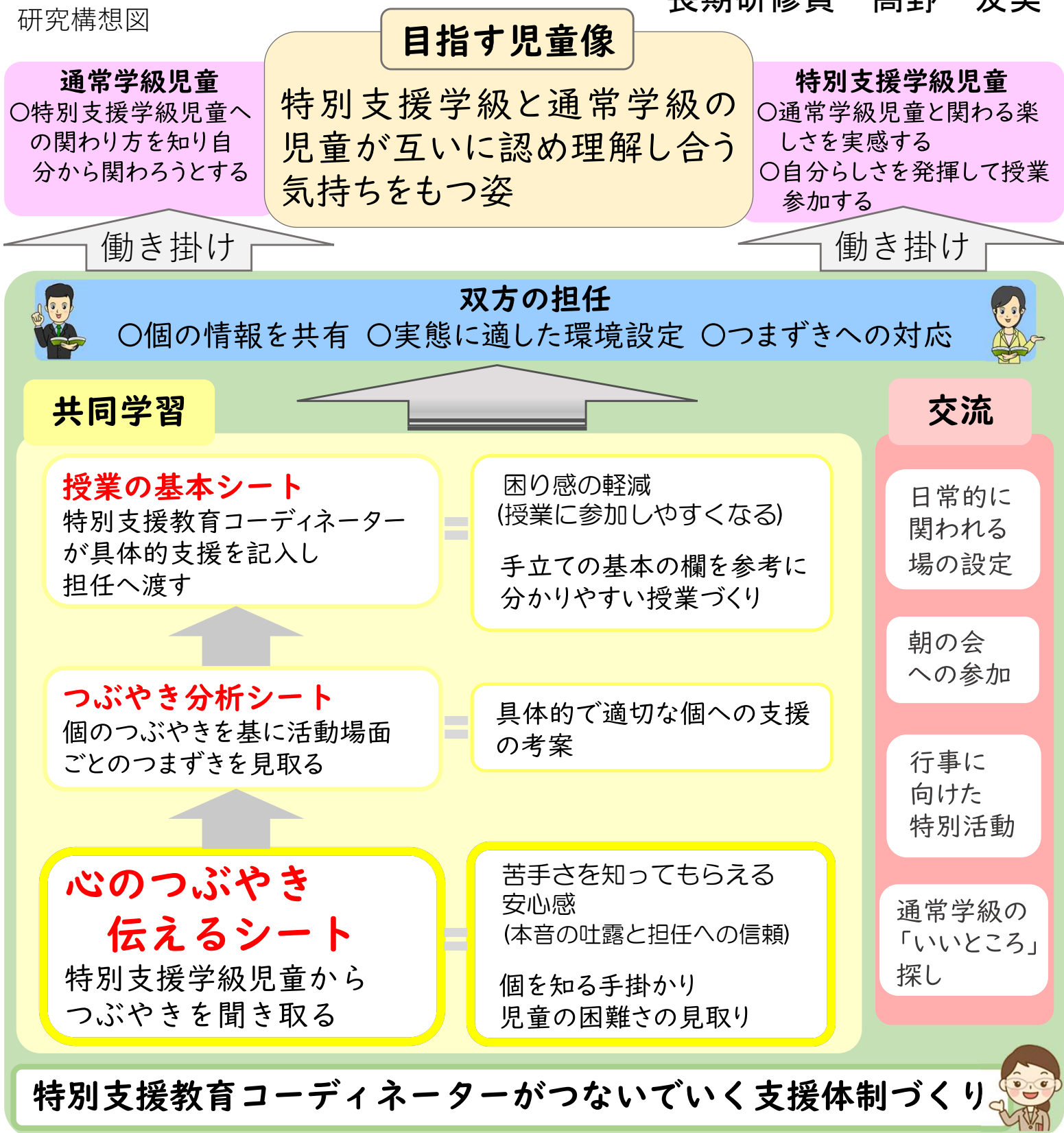


特別支援学級児童の「心のつぶやき伝えるシート」を
 活用した交流及び共同学習の充実
 —特別支援教育コーディネーターがつなぐ
 支援体制づくりを通して—

長期研修員 高野 友美

研究構想図



目指す児童像

特別支援学級と通常学級の
 児童が互いに認め理解し合う
 気持ちをもつ姿

通常学級児童
 ○特別支援学級児童への
 関わり方を知り自
 分から関わろうとする

特別支援学級児童
 ○通常学級児童と関わる楽
 しさを実感する
 ○自分らしさを発揮して授業
 参加する

働き掛け

働き掛け

双方の担任

○個の情報を共有 ○実態に適した環境設定 ○つまずきへの対応

共同学習

交流

授業の基本シート
 特別支援教育コーディネーター
 が具体的支援を記入し
 担任へ渡す

困り感の軽減
 (授業に参加しやすくなる)

 手立ての基本の欄を参考に
 分かりやすい授業づくり

つぶやき分析シート
 個のつぶやきを基に活動場面
 ごとのつまずきを見取る

具体的で適切な個への支援
 の考案

**心のつぶやき
 伝えるシート**
 特別支援学級児童から
 つぶやきを聞き取る

苦手さを知ってもらえる
 安心感
 (本音の吐露と担任への信頼)

 個を知る手掛かり
 児童の困難さの見取り

日常的に
 関われる
 場の設定

朝の会
 への参加

行事に
 向けた
 特別活動

通常学級の
 「いいところ」
 探し

特別支援教育コーディネーターがつないでいく支援体制づくり

《児童の気持ち》
 (特学) みんなと一緒に勉強したいけど、なぜか
 行けない。
 (通常) どう話しかけてよいのか分からない。

《担任の思いや課題》
 (特学) 児童の様子等を伝える時間帯やどの
 程度の情報を共有すべきか。
 (通常) 授業に参加したとき、全体の中での
 対応に困ることがある。

交流及び共同学習に向けた「心のつぶやき伝えるシート」の活用(体育)

共同学習

シートのつづやき伝える

心のつぶやき伝えるシート ※特別支援学級担任が特別支援学級児童に聞き取

参加(活動する)

NO	項目	その通り	少し思う	全然思わない
1	体育着や靴、帽子の着脱、特定の衣服にこだわりたい。	その通り	少し思う	全然思わない
2	ときどき、体調の悪さがあり、参加したくなくなる。	その通り	少し思う	全然思わない
3	授業の始まりに間に合わせたいが間に合わない。(切り替え困難 友人関係)	その通り	少し思う	全然思わない
4	予定とは異なる場所になったときや慣れない場所は落ち着かない。	その通り	少し思う	全然思わない
5	内容によっては苦手意識があり授業に参加できない。	その通り	少し思う	全然思わない
6	見学の場合どうしていいかわからない。(どこで見るか、何をしているか)	その通り	少し思う	全然思わない
7	やってみたいと思うけど、自分から始められない。	その通り	少し思う	全然思わない
8	自己紹介や自分から声をかけるのは苦手だ。	その通り	少し思う	全然思わない
9	授業で何をやるのか見通しがもてないと不安になる。	その通り	少し思う	全然思わない
10	板書をノートにうまく写せず困る。	その通り	少し思う	全然思わない



- 体育館か校庭か、分からないと不安だな。
- 組み体操の技は、言葉の説明だけでは、イメージが湧かないな。
- 集団行動は分かりにくくて、いつも遅れてしまうな。

交流

日常的に関われる場の設定

関わりの工夫
移動場所
時間変更の
連絡係

朝の会への参加
タブレット使用

行事に向けた
特別活動

通常学級での
運動会に向けた
応援メッセージ
づくり

特別支援学級
運動会に向けた
壁面づくりの活
動企画

通常学級の
「いいところ」
探し

協力学級のよさ
を知るきっかけ
づくり

つづやき分析

※特別支援教育コーディネーター用

『つづやき分析シート』

教科「」()年()組
手順 1心のつぶやき伝えるシートから児童がどの場面つまづきを感じているか
2場面の何がつまづきとなっているのか、項目を絞り、下記の個人のつまづき欄に記入する。
3右表(具体的な支援例)を参考に個々に応じた支援を記入する。

児童名	児童名	児童名	児童名
心のつぶやきシートより (つまづきや目標を記入)			
活動場面	配慮すること		
授業前 (参加する) 導入			
状況理解の困難 見通しのなさへの不安 関心のムラ 不注意・多動			



- 本時に実施する5人技の組み体操がどのような活動か見通しをもてると参加しやすくなるな。
- 友達との関わりを求めているのだな。声を掛けてくれる友達は誰かな。
- 指示を理解していそうだったけど、隊形移動があるときは、一斉指導では、混乱しているのだな。

授業の基本と実施



- 担任や友達から声掛けをしてもらう場面をつくる。
- 見通しをもてる的確な指示を出す。
- ポイントを押さえた指示を出す。



○どうしてよいか分からないとき、通常学級の友達が「こっちだよ」の合図と声掛けをしてくれて、動くことができるようになったな。

通常学級児童

ペア活動のとき声を掛けると一緒に取り組めた。

特別支援学級児童

通常学級の友達と同じ活動ができて楽しかった。

全体のルール提示、分かりやすい言葉の指示、次の指示を早めに出し隙間時間を作らない支援で、双方児童が自分で考え動くことにつながった。

気持ちが授業に向かない日でも、取り組むことを理解でき、友達の誘いがあると授業に参加することができた。

成果

「心のつぶやき伝えるシート」での聞き取り内容を授業に活かしていくことで、特別支援学級と通常学級の相互理解が深まり、よりよい交流及び共同学習へとつながった。

課題

「心のつぶやき伝えるシート」は、学年に応じて児童に分かりやすい文章表記や実施時期を検討していく必要がある。

提言

特別支援教育コーディネーターを中心につぶやきをつなぎ児童相互理解を進めましょう。